



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 佐藤 政司
幹事 小熊 東
SAA 川口登志雄
会報小委員長 今泉 敏徳

○例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9
○例会場 ホテルミドリ TEL 0246-8261 ホテルミドリ内
TEL 0246-62-3737

2017-18年国際ロータリーのテーマ

ロータリー:変化をもたらす

第2701回 例会 平成29年7月26日(水・曇)

ロータリーソング 奉仕の理想

会員卓話 影山 晴康 会員

4つのテスト
鈴木 敏広 会員



◎会長報告-佐藤政司会長

皆さん、今日は。1週間は早いもので、もう水曜日が来てしまいました。今日は何の日か調べましたらローリング・ストーンズのミック・ジャガーの誕生日だそうです。会長報告ですが会計の添田会員が栄転により退会されることになりました。また、来週8月2日はガバナー公式訪問リハーサルを行います。8月9日は本番のガバナー公式訪問ですので皆さん宜しくお願いします。思えば渡邊公平ガバナー年度から「あっ」という間にときは過ぎて当クラブよりいわき分区分ガバナー補佐を選出することになりました。11月までにガバナー補佐、幹事、会計を決めなければなりませんのでご協力宜しくお願いします。また地区大会には是非沢山の会員の出席を宜しくお願い致します。私からは以上で終わります。

◎退会会員挨拶-添田俊樹会員

皆さん、今日は。先程会長から話がありました通り、24日付でいわき営業部に転勤することになりました。平成27年6月3日にいわき勿来ロータリークラブに入会させていただきました。2年1か月という短い間でした。前任者の横山が3年居りましたので私も3年位お世話になるのかと思っていましたら、2年を過ぎ転勤移動となりました。いわき営業部は20キロ離れた近い所ですので今後も宜しくお願いします。後任

に本店から渡邊という者が8月4日に着任致します。再来週の例会から出席出来ると思いますので引き続き宜しくお願いします。最後にいわき勿来ロータリークラブ益々の榮榮と会員の皆様のご健勝をご祈念しまして私の退会挨拶とさせていただきます。



◎幹事報告-小熊 東幹事

・第2700地区九州豪雨募金義援金のお願いの文書が届いております。
・米山梅吉記念館研修旅行参加のお願いが届いています。
・地区資金委員長交替のお知らせが届いています。
・新人会員の入会記念品贈呈報告が届いています。
・クラブ報仕委員会セミナーが9月3日に開催されます。
・米山記念奨学会セミナーが8月7日に開催されます。
・10月14日、15日地区大会が白河で行われます。出欠を回覧しますので記入して下さい。
・うねめ踊り参加募集のお知らせが届いております。

出席状況 正会員数 56名 本日出席会員数 38名
本日の出席率 73.08%

8月5日までです。

- ・ロータリー全国囲碁大会のご案内が届いております。
- ・いわき平東ロータリークラブ、いわき平ロータリークラブ、いわき平中央ロータリークラブ、いわき桜ロータリークラブの8月プログラムが届いております。回覧中です。
- ・福島民報社で勿来ロータリークラブの記事を掲載して下さいました。新聞をご覧ください。
- ・勿来ひと・まち・未来会議より文書が届いています。回覧中ですのでご覧ください。

◎各委員会報告

◇出席委員会-大平伸人小委員長

本日の出席状況は前頁下記の通りです。

◇スマイルボックス委員会-高木孝道小委員長

- ・暑中お見舞申し上げます。影山、川口、高萩、生駒、富澤、高木、山下、清水、渡邊(國)、後藤、鈴木敏広、赤津(善)、添田、大平、藤田、渡邊(公) 荒川清、星、林、今泉各会員及び佐藤政司会長、鈴木会長エレクト、小熊幹事、嵐副幹事
- ・なごそ夏まつり天候に恵まれ成功裡に終ることが出来ました。ご協力ありがとうございました。

清水、鈴木(修)各会員

- ・前回欠席ごめん下さい。

橋本、鈴木(雅)、根本各会員

- ・本日早退ごめん下さい。越田和、鈴木(雅)各会員

◎会員卓話-影山晴康会員

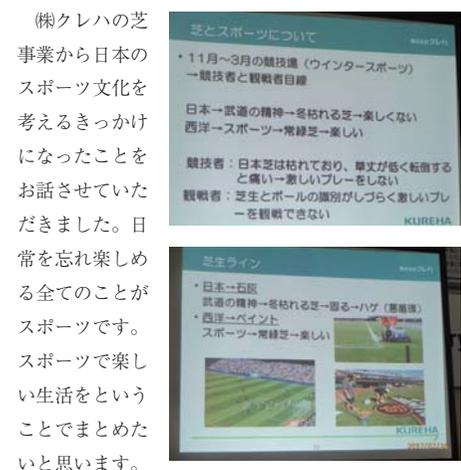
皆さん、今日は。㈱クレハの影山晴康です。初めての卓話になります。宜しくお願いします。自分の生い立ち等をお話したいと思いましたが、やはり自分の職場である㈱クレハ入社後のユニークな営業時代の話したいと思います。タイトルは「クレハ芝エースとスポーツ文化」です。私は入社が昭和63年で錦工場に約3年勤務した後、化学品事業部アグロ製品部農業グループに配属となりました。アグロ製品とは農業に関する製品ということで、いもち病に効果のある農業グループと農協等に販売する培土グループがありました。

配属は農業グループですがこれから話するのは粒状培土に関する話で

す。クレハ粒状培土は昭和45年に製造を開始し粒型1ミリから3ミリの苗床用の粒状培土です。福島県内では90パーセント程度、関東圏では50パーセントから80パーセントの高いシェアを誇る製品でした。農業グループに配属後2年後には人員不足から培土グループ芝エースという製品の販売を掛持ちするようになりました。芝エースは粒状培土の粒型からさらに細かい1ミリ以下の粒状培土の二次製品で再利用品でした。用途は洋芝の種子の発芽促進剤ということです。販売が苦戦していた平成2年頃、平成5年にサッカーJリーグが発足するという情報が入って参りました。



芝エース工法は2カ月後使用出来ることにくわえ、冬でも緑の芝として日本の競技場では珍しく広くマスコミを通しアピールすることが出来ました。クレハも培土グループから平成5年に芝エースプロジェクトという営業チームを発足し体制を整えました。そして主なサッカーチームのホームグラウンドや国際会場等全国から芝エース工法について問合せが殺到し受注につながりました。



御静聴ありがとうございました。

